

平成 23 年度東北海区海況予報 第 2 号

《今後の見通し (2012 年 3 月～4 月) 》

- (1) 近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏～北偏 (北緯 $37^{\circ} \sim 37^{\circ} 50'$) で推移する。
- (2) 近海の黒潮系暖水の北限位置は、平年並みで推移する。
- (3) 金華山沖の暖水塊は停滞し、釧路沖の暖水塊は消滅する。
- (4) 親潮第 1 分枝の張り出しは平年並み (北緯 39°) で推移する。
- (5) 親潮第 2 分枝の張り出しは南偏 (北緯 37°) で推移する。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは弱勢 (東経 $141^{\circ} 40'$) で推移する。

《海況の経過 (2011 年 11 月～2012 年 1 月) の特徴》 (注) FRA-ROMS システムによる結果

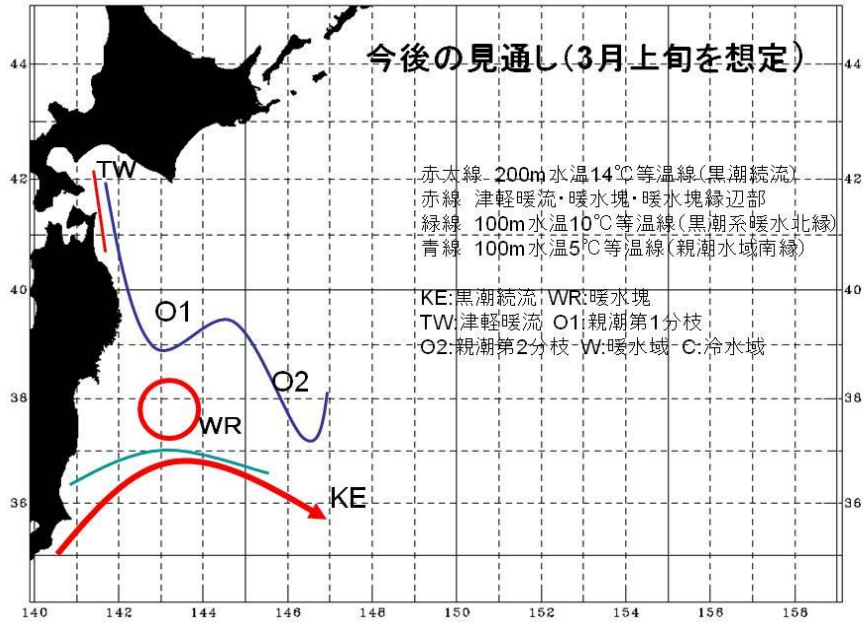
- (1) 近海の黒潮続流の北限位置は、平年並み～やや北偏 (北緯 $36^{\circ} 30' \sim 37^{\circ}$) で推移した。
- (2) 近海の黒潮系暖水の北限位置は、平年並みで推移した。
- (3) 根室南東沖の暖水塊、および三陸沖の暖水塊は停滞した。
- (4) 親潮第 1 分枝は、12 月まで根室南東沖の暖水塊に南下を阻まれていたが、1 月に平年並み (北緯 40°) となった。
- (5) 親潮第 2 分枝の南限は、平年並みで推移した。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並み (東経 $143^{\circ} \sim 142^{\circ} 30'$) で推移した。

《現況 (2012 年 2 月上旬) の特徴》 (注) FRA-ROMS システムによる結果

- (1) 近海の黒潮続流の北限位置は平年並み (北緯 $36^{\circ} 30'$) である。
- (2) 近海の黒潮系暖水の北限位置は平年並み (北緯 $37^{\circ} 10'$) である。
- (3) 暖水塊が金華山沖約 170km、釧路南南東沖約 150km にある。
- (4) 親潮第 1 分枝の張り出しは平年並み (北緯 40°) である。
- (5) 親潮第 2 分枝の張り出しはやや南偏 (北緯 $38^{\circ} 40'$) である。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは平年並み (東経 $142^{\circ} 30'$) である。

(注) この海況予報は、独立行政法人水産総合研究センターにより開発され、2011 年 10 月より試験運用を開始した FRA-ROMS システムを用いている。

3月上旬予測水温分布図（100m 深）

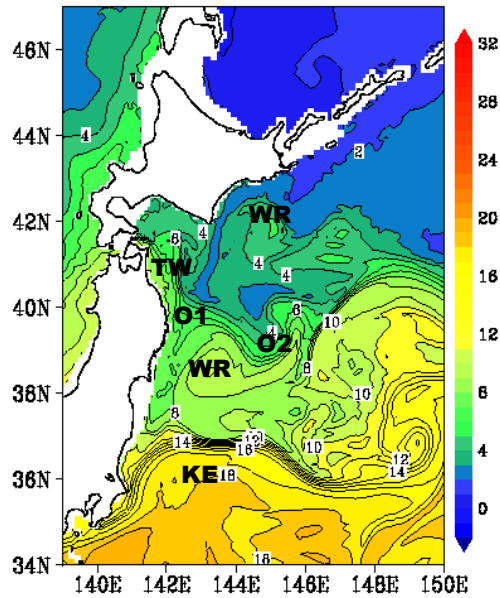


2月上旬現況水温分布図（100m 深）

2012/02/10

FRA/ROMS

Temperature[°C] (100m)



図中の記号はそれぞれ O1 が親潮第 1 分枝、O2 が親潮第 2 分枝、C が冷水域、WR が暖水塊、KE が黒潮続流、TW が津軽暖流を表している。